

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（略称：RING）の概要

設立年月日：平成12年5月26日

理事長：黒崎 猛（JXエネルギー（株） 取締役副社長執行役員）

組合員：旭化成（株）、出光興産（株）、大阪ガス（株）、鹿島石油（株）、鹿島アロマティックス（株）、コスモ石油（株）、JSR（株）、JXエネルギー（株）、昭和シェル石油（株）、昭和四日市石油（株）、住友化学（株）、大陽日酸（株）、知多エル・エヌ・ジー（株）、帝人（株）、東亜石油（株）、東ソー（株）、東燃ゼネラル石油（株）、（株）トクヤマ、（株）徳山オイルクリーンセンター、日本ゼオン（株）、富士石油（株）、丸善石油化学（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）（企業24社）

事業費：平成28年度約2.8億円

事業の概要：石油コンビナート高度統合に係る技術・展開事業の実施

○組合設立の目的

組合員の協同による石油コンビナート高度統合運営技術に関する試験研究その他組合員の技術の向上及び実用化を図るための事業の実施

○実用化の方向性

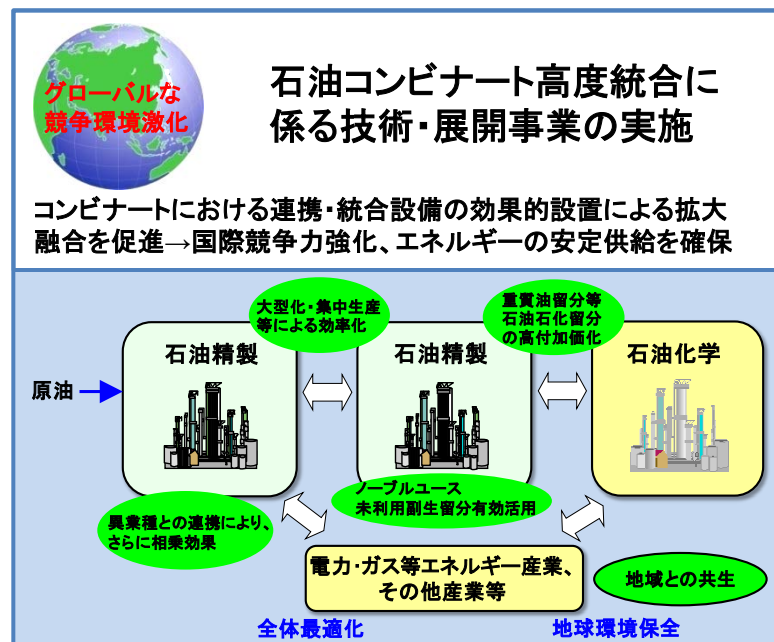
コンビナート統合の基盤技術、統合高度化・環境対応技術、全体最適技術等の開発について実証研究により連続操業できる産業技術として確立。さらに、実用化の対象を広める事業を展開する。

これらの事業が契機となり、各種の産業間連携や一体運営、異業種省エネ連携等の取組みにつなげる。

→ 石油の安定供給、資源の有効活用、国際競争力強化、地球温暖化防止対策に寄与

○事業化の目途の時期

実証研究完了後、順次事業化。さらに、展開する石油産業構造改善事業は、速やかに事業成果を得る。



平成28年11月1日現在

